



ライダー  
姫騎士の  
淫猥なる日々<sup>+</sup>

成年向  
FOR ADULT ONLY

ライダー  
姫騎士の  
淫猥なる日々+

ライダー  
姫騎士の  
淫猥なる日々+

……全ては、あの日。

私こと「ライダー」のバイト先にフラリと現れた、あの「長沼鋭造（ナガヌマ・エイゾー）」という男。

この男に出会った事が全ての始まりであり、終わりであった。

その日、私は本来帰るべき主たちの下ではなく、エイゾーによって、一晩中相手をさせられる事になった。

——いや、それは最初のうちだけだった。

最後の最後まで、自らの主を想い続けて要られたなら決してこのような結果には、ならなかったはず……。

しかし、もう私には、帰る家は無く。

今はただ、ひたすらに己の内から沸きあがる欲情を……火照りを鎮める為に、日々、淫らな行為に耽り続けて

いる……、でも、それでも時折想い出す……。

あの日、あの時こそ、最後の希望が在ったのかも知れないと——。

ライダー  
姫騎士の  
淫猥なる日々+

えー。テストス：  
んー…あーっ…

えーっ、本日は  
お日柄も良く、  
お忙しい中、皆様には  
この船にお集まり  
いただき、

ありがとうございます  
今回の催しに關しま  
しても、皆様の  
ご助力あつての…

おいおい、我々は  
君のゴマすりを聞きに  
来た訳じゃないんだ。  
早く始めたまえ。



ホンマ、皆様には  
かないませんなあ（w）  
では、早速登場して  
もらいまひよ。

彼女を身請けして一週間、  
来る日も来る日も  
シーツの上で泣かせ続けて  
やりましたー

くっ…好き勝手  
言つてくれますね  
エイソーっ!!

ようやく、本日、  
パトロンの皆様方の前に  
お披露目出来る運びと  
なりました!!

では、皆様拍手で  
お出迎え下さい。  
本日の主役にして  
メインディッシュー

この一週間、好き放題  
肢体を觸られ続け  
おかげで、あの曝露に  
対する抵抗力も身に  
つけ始め…

エイソーの隙を  
見つけて、なんとか  
逃げ出す算段を  
立てられそう  
だったのに…



み…皆様つ…  
ご来場…いっ…  
いただき…

あ…ありがとうございます…  
ごさいます…  
本日はどうか…  
心ゆくまで！

けつ…決して、己の快楽の  
ためなどでは、無いのです…  
…さう、決して…

あ…あ…♡

かあ

こ…このライダーの  
痴態を…ご堪能  
下さいませ！

オオオオオオ

ほほう、これは見事な  
仕上がり具合ですなあ。  
下着から透けてる  
ほんのりした桜色が  
何とも絶品ですな。

どうやらパイパンの  
ようですが、これは  
元からですか  
エイソー殿？

いやいや、むしろ  
ライダーはんは  
毛は多い方でして、

そやから、儂が  
毎日、そりや丁寧に  
剃毛してますねん。

フィル…

そつ…そんな事まで  
今言わなくても  
いいでしょうっ！！

かあ ああ♡



しかし、この見事な濡れ具合からすると、すでに彼女は感じてしているのかね？

ええ、そりやもう四六時中発情してますさかい、いつても召し上げられまっせ



ざわ... ざわ...

ほな、どれだけいやらしい体かちよつとした糸興をお目につけましょ。

今から、僕の手で30秒もかけずに皆様の前で絶頂させてみせますわ!!

—っそんなっ!! こんな体にしたのは貴方でしょうっ、エイソ—っ!!

なっ!?

なっ...、なにをバカな事を—っ!?

どうや!?! 悪い話やないやろ?

本当...こそが私が耐えたら...

ああ、約束はちゃんと守るで。もつともライダーはんが...最後まで我慢できたらなあっ!!

しゃあないなあ、ほなここで一つチャンスをおげようやないか

この30秒間、我慢出来たらライダーはんをうちに帰したるわ。

ま...まだそんなことを言つて

もちろん、土地の権利書、その他、色々今回の後始末も無条件でつけたるでえ。

あ...あ...

!?

ビクッ!

!?これ、いつもの  
囁きじゃないっ!?

そんなっ♥も…もつと  
唐いなんてっ!?ああっ  
ぞ、そんなに塗りつけ  
られたらあああ♥

でっ…でも、これを見機  
すればっ…がまんしてっ♥

おお、まだ10秒も  
立っていないのにもう  
絶頂されてしまいましたか。  
もう少し粘るかと思  
いでしたが。

確かにこれは、また  
随分と卑猥な体をして  
おりますなあ。これは  
先行きが楽しみだ、

いっ♥イツた♥イツて  
しまいましたがあああっ♥  
さ…艇、土郎っ♥すっ♥  
すいません、こんなあつさり  
と、はああっ♥まっまたくるっ♥

あかんがな、  
こんな簡単に  
終わってももうたら

お客様に  
申し訳がたたん  
やないか

じゃあ今度は  
自分からおねだり  
するのを我慢できたわ  
さっきの約束守ったるわ

そうそう、オ○ンコ  
責めは次からは避け  
たるわ。そやないと  
すぐおねだりする  
やろうしな♪

そっ…そんな事っ!!  
死んだっつするわけ  
ないでしよっつ!!  
んんっ♥でっ…でも♥  
体が疼いてしまって…

くっつっ♥き…きついっ♥  
で…でも耐えないと、  
このままでは本当に  
堕とされてしまっ!

がまん…ん…っ♥

んんんんっ♥♥♥♥

!?



どうや?  
尻タブの裏側とか

普段余り触らん  
場所はごっつう  
効くやろ?

下乳の辺りとか  
胸の谷間とかも  
ええ案配やろ?

このまま、  
隙間ちゆう隙間を  
余す所無く塗り  
たくったるでえ!!

しっ…信じられませんか?  
こんな所ばかり  
弄られてるだけなのに

はああっ♡こ…声が出  
てく…まじっ♡

おっ、これで  
5分経過か  
まだまだ先は  
長いですな

そうそう、  
オ○ンコは弄りへん  
言うたけど

その「際」の部分は  
よく可愛かったら  
さかいなあ♡

そっ…そんな、まだ  
たつたの5分!? 30分が  
ごっつ…こんな長い  
なんてえええっ♡♡

終わって!! 早く  
終わって下さいいっ♡  
じゃないとっ…まっまた  
我慢出来なくなるうっ♡

その方が、  
ものごっつう切なく  
なるやろ。んん?

せっ♡せっないひいっ♡  
ホントにせっないからあっ♡  
もっ♡そごっ♡弄るの  
やめてええええっ♡♡

疼くっ♡…オ○ンコ触れてないのに  
疼いてしまっ♡

おっと、こども  
たつぷり舐め  
たらんとなあ

んーっ♡ええ味や  
甘露甘露っ♡

わっ…臨っ!?  
そんな…そんな所  
なんか!?

うっ…嘘でしょうっ!?  
こんな感じたりする  
はずないのにいっ♡

んー?もう鼻にかかった  
甘ったるい声しか出えへん  
ようになつてきたな。  
もう限界かなあ。  
ライダーちゃん?

けっ…眼界…!?  
確か…もう…  
で…でも我慢しな  
ければ…ああっ♡

ほれ、一人でよがって  
ないで、皆様にも良く  
見てもらわんと♪

なにせ、今度我慢  
できんかったら、罰として  
この船のお客全員と相手して  
もらうんやからな♡

なんやあや罰の事  
考えたら辛抱  
出来んようになつたんか?

オオンコが随分  
ぶつくりとして  
きおつたでえ♡

!!…ち、違っつ  
そんなバカな事  
されたらあつ♡

絶対、元に戻れなくなるっ。  
なつてしまっつ♡♡♡  
あの家に帰れなくなるっ♡

いつ…今なんてっ!?  
全員!?全員つて!?  
そんなに大勢相手  
出来るわけっ!?ああつても♡  
もう我慢出来ないいっ♡  
このままだと、いっばい  
非道い事されちゃうっ♡

ほな、そろそろ…  
トドメといくかい  
なあっ!!

僕のありったけの  
想いっ!!受け止め  
たってやああああっ♡

キッ…キスっ!?それモ  
この臭い、さっきの囁きと  
一緒に…!? こんな物  
今、飲まされたら—

いっいやああっ!!こんな  
くさくて汚いキスなんかで  
いっ…イカされたくなん  
がないのにいいいっ♡♡♡

感じたくないのにっ♡  
舌がっ…舌があああっ♡  
はああっ口内が、とっ、  
蕩けてしまっうっ…もうだめっ♡  
我儘出来ませんっ♡ああっ  
いっ…イくら—っ♡  
イカされるっうっ♡♡

はああああああっ♡♡  
いっ♡いっ♡さうらう♡♡  
私…エロ非道いキスなんかで  
イカされてしまってるうっうっ  
ああっ耐っ、すいませんんんっ♡

ははは、まさかキスで  
イカされてしまうとは、  
こいつは飛んだ淑女ですな

さて、我々も用意  
しますか、なにせ  
全員を相手して  
くれるそうですしな

しかし、これだけの  
人数、今夜一晩だけで  
回せますか?

なかに、長い船旅です。  
一晩と云わず  
一月でも二年でも  
相手して貰いませう。

や…やはり私は、もう  
あなたたちの元には帰れな  
ありません—

も…もう無理っ…♡無理  
ですうっうっ♡ 土郎、航  
ごめんなさいいいいっ♡

ちゅ  
ちゅ

ちゅ♡  
ちゅ♡  
ちゅ♡

ちゅ♡  
ちゅ♡  
ちゅ♡

ちゅ♡  
ちゅ♡  
ちゅ♡

ちゅ♡  
ちゅ♡  
ちゅ♡

ちゅ♡  
ちゅ♡  
ちゅ♡

——結局、私は抗うどころか、ただ為すがままに己の情欲を貪り尽した……。

エイゾーの接吻を喰らった後のことは

全く記憶にはなかったが、親切にもあの出来事を映像として記録しておいた者がいたそうだ。

全くもって、憎憎しい限りであると同時にどこか期待している自分がいる事に気付いていた……。

その映像には、自らを一匹の牝として、ただひたすらに、その身を

慰め、弄び、犯し続ける獣がいた。

……誰も触れてはいない、ただ自分で自分の身を喰らう牝がそこにいた……。

あれが誰であるかは、分かり切っている筈なのに、それを認識できないでいた

……違いますね。ただ認めたくなかつたのでしよう。あれが、……あのような牝犬が、私なのだと……。

うーん、やはり  
ライダーさんは  
この姿でないとは

いや  
全くだすな

この姿を見るとさすが  
殺されてもおかしくない  
というのに……  
それと思うと  
一層興奮してしまいますな

…まさかこの姿で  
こんな大勢の前で痴態を  
演じさせようとは……  
エイソー……許せません……  
いつか必ず……必ず殺しますっ!

しかし、どうして先ほどから、  
私の身体の疼きが……んっ♡  
くっ……っ、こんなに疼きが  
激しくなっているのが……んんっ♡♡

こ…こんなはしたない甘じ  
なっってしまったているなんて…  
それも師団連の大団な  
この服を着て欲情  
するなんて…

では、早速  
いただきますかね!!

あ!!

んん♡

あははは♡  
あははは♡  
あははは♡

あははは♡  
あははは♡  
あははは♡

まっ、まっ、ただこれ  
が私の全部だよ!!  
あははは……あははは……

あはは!



はあっ♡ちゅっ…乳首  
そんなに音立て  
吸わないでっ!!

舌でじっくり転がさないで  
えええええっ♡♡♡  
いっ…いやああっ!!  
う…うぞっ?! 嘘です!?

こんなっ…こんなこと♡♡い  
またイカされぞっに  
なってる!? なって  
しまってるうっ♡♡♡♡♡

ずっと  
片方だけではかわいそう  
ですな。  
ここは両方可愛がって  
やらねぼ

そんな、両方って  
やああっ♡

あまがみ  
だめえええっ!!

だっ、だめえっホントに  
これ以上吸わないで  
くださいっ…

じゃないと、じゃないと  
ホントにイってしまっ  
うっ♡♡♡♡♡



おっといかんいかん、  
危つくまた  
イカせるところだった

あっ♡  
はあっ♡

ははっ、ここまで  
乳首を尖らせて

しほったらミルクが  
吹き出そつですよ

あ…危なかった…  
またイカされそつに!?  
ぞ、そんな事!?

乳首吸われただけで  
イカされそつになる  
なんて事、あるはずが  
ありません

しつ…失礼なことばかり  
言ってくれますね…  
貴方たちなど私が本気を  
だせば、全員塵と化して  
やれるのに…で、でも

くっ♡ちっ♡  
乳首じんじんするっ  
こんな感じるなんて  
今までなかったのに…

では、今のライダーさんの  
お顔を拝見させて  
もらおうかな

おっと、魔眼は  
無して頼むよ!

はっ♡

じゃあごほうびにまた  
キスをして差し上げましょう。  
さあ、お口を開けて……

逆らえない——

おやおや、なんだか  
可愛い顔ですなあ

いつもの冴々しい顔と違って  
こういうのもたまりませんな

こんな、吸らに  
いいようにされているという  
のに、どうして私は逆らえない  
のですか……

は……あ……♡

そっとう突きだして

は…は…♡

あつ…あさましい…

私…

私…こんな事までして

自分を融めて欲しいなんて…

どうかしています…

本当に…さても…

んんん…♡

んー、随分と長いキス  
ですなあ、早く代わって  
戴けませんかね!

結構!!

まさか、またキスだけで  
イってしまったのでは  
ないでしょうか?

ははは、英雄である  
彼女がこんな事くらいで  
三度もイキはしないでしょう

このようなキスをされるだけ  
で感じてしまうのですか?!  
私の♡私の体、いったい  
どうしてしまったのおお♡

ふあああ♡♡♡キス♡♡♡  
キス唐しい♡♡♡  
なんで♡♡♡♡♡♡♡♡♡私  
が見ず知らずの男に

おやあ♡キスだけ  
だというのに股の方は  
随分と大洪水のようですぞ

そうですな、  
これは失礼した



さて、魔眼封じを  
かけて置くでしょうか

流石に裸眼だと  
いつ間違っただに石にされるか  
わかりませんがからなあ

ブルブル...

ライダーさん  
お待ちかねの  
マラですよ

たつぷりと味わって  
くれたまえ

まあ何より我々の  
顔とチンポの形を

はつきり覚えていただく  
ためには必須のアイテム  
ですからね

こ、こんな臭いのに  
ほ...ほおばりたい  
なんて思うなんて...  
ああつ、どうして  
私、こんなに...

...本当に勝手なことばかり  
言ってくれる...  
私は貴方達のベツトなど  
ではないというのに...

ぞう...産つはず...  
でも...疼きが止まらない  
何度イカされても治まるのは  
ほんの一瞬、気を取り戻した  
ときにはまた戦慄してしまつて  
いる...

んっ♡  
んんむっ♡  
んんっ♡

んんっ♡

...信じられません  
こんなものを  
見ただけでこんなに  
胸が高鳴るなんて

ブルブル

アッ♡

アッ♡

さあさあ、  
遠慮せずに  
一気にくわえ込み  
たまえ!!

んっ?おおつ!!  
これはまたいい感觸だ!!  
この舌使い、なるほど素晴らしいですな!!

私...どうして...  
こんな物をほおばって...  
お...おいしい♡  
なんてえっ♡♡ああつ♡

これほど一心不乱に  
むしゃぶりつくとは、  
よほど待ちかねたよう  
ですなあ

しかしオナニーしながらの  
フェラチオとは、早く  
我々の精液を注いでほしがって  
いるのではないかね？

ぞつ…そんな事  
あるわけないでしょうっ！！  
貴方達の精などほしがる…  
はず…ない…のにいっ

いやなのにつ…  
否定したいのにつ  
指が止められませんっ！  
口に興いベニス…ほおほり  
ながらオナニーするのが

いつもの何倍も…ぞつ…  
シロワとしたときより全然  
気持ちよくて止まらないっ  
止まりませんんんっっ♡

うおっ！もうだめだっ  
てるっ！？てるぞおっ！！

あつ…熱いのガノドに  
いっばいっ…!!!

うーむ、つい興奮して  
射精してしまったな。

くっ…くさい精液  
飲まされてるのにつ♡  
頭の中痺れるっ  
なんでえええええっ♡♡

おっとまだまだ  
休ませませんよ  
たっぶり飲んで  
いただかないと

ま、まって！まだこっちが  
始まってないっ！！

そうそう、まだまだ後が  
つかえてますからな

んっ♡んっ♡んっ♡

おっ♡おっ♡こっ♡  
これはいいですなあっ!!  
んむっす、すぐにでも  
射精してしまおうだっ!!

そっ、そんな乱暴に  
ノド犯さないでっ!!

臭いザーメン  
飲ませないでえええっ♡

おっど、いかんいかん、  
またしても  
イってしまっただか

んー、どうやら本気で  
イッてしまった  
ようですな

そうそう!! 雁首も  
丁寧に舐めて  
チンカスの一粒も  
残らず食べたまえ

ようし、お札にタツプリ  
飲ませてやるぞ!!  
口で孕むぐらい  
注ぎ込んでやるっ

こっ…このままじゃ  
精液飲んでるだけで  
まだイクっ!?  
イカされるっ

そんなのいやっいや  
なのになんかいいいい♡♡

あっ♡頭っ  
まつしるにっ♡♡  
なるうっうっうっ♡♡

まあすこし休憩させて  
あげますか。マゲロのまま  
ではせつかくの魅力が  
半減ですからな

しかし、失神しながらも  
オマンコを弄るのを  
やめないとは。これは  
とんだ女神さまですな。

ライダーさんもうやら  
落ち着いたようですし

ようやく  
とっておきの場所を  
楽しめそうですな

クククク

おつとすんまへん  
ちよつと替得つて下さいや

実は今日は皆様に  
一つお願いがありましてな  
このライダーはんに、是非とも  
教えてやって欲しいんですわ

まあ、単刀直入に  
言いますと、  
今日皆様に使って  
いたきたいのは  
彼甘のオマンコではなく

て…でもこれでようやく  
子宮に精液を注いで  
貰える…

そつすれば…この火照り  
さえ静まつてしまえば…  
そつ…そつすればきつと…

…なつ…なんてつ痲態を  
晒してしまつたのか…  
まさか、あんな事だけで矢神  
するまでイクなんて…

…あまつさえこんな男達の  
精液を心の底から  
ほしがるなんて…

ふんふん

はあ

はあ

こっち  
尻穴のほう  
ですもんっ!!

ちなみにさつき通りたつた  
媚薬は特別製でしてな、  
子宮に直接精液を注がんと  
疼きが止まんようになつて  
ますねん。

なるほど、それで我々の精で  
イキまくっていたのか。  
まあそうだな、調り高き  
ライダーさんが我々のような  
下賤の手でイキまくるわけ  
有りませんからな

そんな、いつばい  
掘げないでっ!?

いやあああつ  
みないでえええ  
ええつっ!!

ど…どつりで…いつまで  
たつてもこの疼きが  
治まらないはず…

そ…そつと解れば  
なんとかして

ハッ、バカなこと  
言わないで下さい  
エイソ〜!!

まあ皆様にはこの尻穴を  
休むことなく可愛がつて  
やつてほしいんですわ

ほう、すんなりと  
挿二本入りましたな

ああ、それぐらいは  
朝飯前ですわ。しつかり  
解しましたさかい

や、やめさせなさい!  
そんなバカなことされたら



びくん♡

されたら、どうなるのかな  
ライダーさん♪

ぞ…それはっ♡  
ああ…だめっ♡  
ダメなんですっ、  
ホントにっ、だめ…

まあ、突っ込んでみれば  
わかることですよねっ!!

だめっ…

ああ♡  
ああ♡  
ああ♡

ああ♡  
ああ♡  
ああ♡

ああ♡  
ああ♡  
ああ♡

ああ♡  
ああ♡  
ああ♡

うおおおっ!!  
こっ、これはっ!!  
いつ、いかんっ  
これほどとはっ

なっなにこれっ!!  
イッてる軌っ!! お斥なのに!!

こんな簡単に?  
ああっ、どうしてえっ!!  
はあああああ♡♡

ぬう!! まっますら  
これは、こぢらもすへん  
ううっ…だめだ、

射撃するぞおおお  
おおおおおっっ!!

きたっキタッ♡  
きたああああっ  
お尻に熱いの

特濃ザーメン  
注がれてるうううう  
うううううう♡♡♡

くうっ…なんという事だ  
これほどとは…長く  
愉しむつもりが  
あっさりいってしまったわい

まあまあ、次もたくさん待って  
おられることだし、次の機会にでも  
可愛がってやればよろしいでしょう

なかに、彼女は  
サーヴァントです、  
きつと耐えてくれますよ

しかし、そこまで  
正気を保っていてくれますかね？

こつ…怖いっ…  
たつた一度の肛話で  
あんなにもあっさり  
イッてしまっなんて…

この人散で輪話されたら  
一体…どうなっ  
てしまつのですか…  
士郎…船…どうか秘に力を…

は…♡

は…♡

はああああっ♡  
またおしりにいいいいいい  
いいいい♡♡♡♡♡

暗、勝手に動くん!?  
どんどんチンポ飲み込んでっ  
私の体じゃないみたいになっ

男達の精液絞り取っていっ♡  
そとぎこまれる♡お腹  
いっぱいになるううう♡♡

んっ♡

くっ♡

んんん♡

だっだめっ、もう許してっ  
ああっ、どうして  
お尻ばかりいい♡♡♡

おおっ、確かにこれは  
イイですなあ!

さあ、まだまだ次が  
控えますよ  
ライダーさん!

あーっ♡  
らめっ♡

らめって♡  
いつてるのに

いっ...いやあっ♡あんなに  
いっばいっ♡いっばい  
犯されるなんてえっ  
だっ、だめ、想像しただけで

またイクっ♡イクてるっ  
イクてるのにまたイク  
イクっ♡だめっ♡

お尻♡ハカに  
なるうっ、なってるううっ♡  
はああっ♡らめえっ♡

イクの止まらないいいっ♡  
止まらないの♡だめなの♡  
アナルでイキまくってる♡  
尻穴ほじられるの  
たまらないのおおっ♡

あーっ♡  
あーっ♡

♡♡♡♡♡

あっ♡

お尻っ熱い  
いいいいっ♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

たっ♡たまらないのっ♡

またイクっ♡  
いきますっ♡

だめっ♡だめえええっ♡  
気持ちよくならないでえ  
こんなお尻の穴でっ♡  
私♡自分じゃなくなっ♡

はっ♡  
はっ♡

どうやら大分こなれて  
きたようですなあ。  
これで三十人目ですか？

まったくこれだけの数を相手  
にしているというのに、  
方ハガバになるところからなら  
締め付けが強くなるとは

あはっ♡

アナル♡アナルセックスに  
はまるっはまってしまっっ  
ああっ♡土郎とのSEXより  
腑と愛し合っより…

このほうがずっといいなんて  
ああっ…忘れろっになってる  
あの家での幸せも…皆との  
暖かい日々も、  
全部消えていく……

あっんっ♡  
あんっ♡

♡♡♡♡♡

はぁ...♡  
はぁ...♡

ふうっ...これは  
名器すなあ...  
いやはや...もう一度  
くらい続けてみたいが

流石に他の紳士をこれ以上  
お待たせするわけには  
参りませんからなあ

では、一緒に愉しむ  
というのはいかがですか？

——一緒!?  
——一緒ってまさか...

うおおおっ♡  
こいつは凄い!  
病みつきになりそうだ!!

この尻穴に比べたら  
他の女共等カス同然  
じゃあ!!

くううったまらん、  
たまらんぞおっつ!!!  
ナンの心配も要らん!!

ライダーさん、君はこれから  
僕らの性奴として死ぬまで  
可愛がってやるからなあっ!!

あああああ!!!

それから何時間が過ぎたのか、  
いくら懇願しようが、泣きわめこうが、  
私の尻穴から肉棒が抜かれることはなく、  
ひたすらに入れ代わりつつ  
わたしの躰は貪り続けられていた。

そして、全てを諦めたとき、強烈に己の子宮が  
戦慄きはじめた。「種の存続」。生命ある物なら  
当然の情動であり、必然の行為である。

それはかつて神の座に位置していた、  
私、メデューサとて女である以上逃れられぬ本能であり、  
それ故に、その情欲に逆らうことなどできる  
はずもなかった。しかしそれでも男共はただひたすらに  
尻穴のみを犯し続けた。

息を吸うように、飯を食うように、  
それが当然であるかのように犯され続けた。

——そして、私は。

桜のサーヴァントであることを捨てた——

さあ、ライダーはん、  
ちやあんとご挨拶できたら  
ご褒美あげるさかい、  
気張ってや

は…はいっ

わっ、私、メテューサを  
皆さんの尻穴奴隷として  
仕上げていただいて  
ありがとうございます♡

ぞっ♡そのお礼として  
ささやかながら私から  
フレゼントを差し上げます

それは、私、メテューサの  
離穴マンコを皆様の  
おチンポでめちやくちやに  
していただきますう♡

きよ、今日は危険日なので  
みなさんの精液戴いたら  
きつ♡はっ、孕んじやう  
と思えますっ♡

私っ♡ぞっ、それを想像  
しただけでイキそうですっ

だっ♡だから早く  
私のこと♡滅茶苦茶に  
してえええええっ♡

この航海が終わる頃には  
彼女は何人の母なのか

あ…♡

はあ♡

非常に楽しみなね

——  
桜……、  
士郎……、

私は今、  
幸せです——



